

# TOYOBO

## 安全データシート

THUNDERBIRD™ Probe qPCR Mix  
 作成: 2009年1月5日  
 改訂: 2022年10月1日  
 整理番号 00345A

### 1. 製品及び会社情報

製品名	THUNDERBIRD™ Probe qPCR Mix
製品コード	QPS-101, QPS-101T
会社名	東洋紡株式会社
住所	大阪市北区梅田一丁目13番1号 大阪梅田ツインタワーズ・サウス
担当部門	バイオ事業総括部
電話番号	06-6348-3786(国内)、06-6348-3846(海外)
FAX番号	06-6348-3833
推奨用途および使用上の制限	Realtime PCRによるDNAの定量(研究用試薬)

### 2. 危険有害性の要約

重要危険有害性	
有害性	有害性に関する調査が不十分なので、取り扱いには注意する。
物理的及び化学的危険性	常温では特に危険性はないが、THUNDERBIRD™ Probe qPCR Mixは131℃の引火点を持つ添加剤を含む。

GHS分類	区分
急性毒性(経口)	区分に該当しない(分類対象外)
急性毒性(経皮)	区分に該当しない(分類対象外)
皮膚腐食性/刺激性	区分に該当しない(区分外)
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性	区分に該当しない(区分外)
水生環境有害性 短期(急性)	区分に該当しない(区分外)
水生環境有害性 長期(慢性)	区分に該当しない(区分外)

### GHSラベル要素

絵表示:	—
注意喚起語:	—
危険有害性情報:	該当しない
GHS分類	分類できない

### 3. 組成、成分情報

単一製品・混合物の区別	混合物	
化学特性	酵素、基質等の水溶液	
パーツ名	主要成分	CAS No.(EC No.)
<THUNDERBIRD™ Probe qPCR Mix>	トリス(ヒドロキシメチル)アミノメタン	77-86-1
	デオキシアデノシン三リン酸	1927-31-7
	デオキシチジン三リン酸	102783-51-7
	デオキシグアノシン三リン酸	93919-41-6
	デオキシチミジン三リン酸	18423-43-3
	添加剤	非公開
	DNAポリメラーゼ	(EC 2.7.7.7)
	タンパク質(マウスモノクローナル抗体)	—
<50x ROX Reference Dye>	ROXリファレンス色素	—
危険有害成分		
化学名又は一般名	添加剤	
別名	非公開	
含まれるパーツと含有量	THUNDERBIRD SYBR qPCR Mix: <15%	
化学特性(化学式)	非公開	
CAS番号	非公開	
官報公示整理番号 化審法:	登録済み	
安衛法:	公表	

### 4. 応急措置

吸入した場合	直ちに新鮮な空気のある場所に移し、気分が悪くなった場合は医師の診断を受ける。
皮膚に付着した場合	多量の水で十分洗い流す。
目に入った場合	目に入った場合、水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて、容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。目の刺激が持続する場合は医師の診断、手当てを受ける。
飲み込んだ場合	可能であれば吐き出させ、直ちに医師の手当てを受ける。

# TOYOBO

## 安全データシート

THUNDERBIRD™ Probe qPCR Mix  
 作成: 2009年1月5日  
 改訂: 2022年10月1日  
 整理番号 00345A

5. 火災時の措置  
 消火剤  
 使ってはならない消火剤  
 消火を行う者の保護  
 水、二酸化炭素、泡消火剤、粉末消火剤  
 情報なし  
 消火は風上から行う。  
 大規模な火災の場合は呼吸用保護具を着用する。
6. 漏出時の措置  
 人体に対する注意事項  
 環境に対する注意事項  
 封じ込め及び  
 浄化の方法及び機材:  
 作業を行う際は保護具を着用し、眼・皮膚への接触や吸入を避けるように注意する。  
 濃厚な廃液が河川に直接流れないように注意する。  
 少量の場合は、土砂、おがくず、ウェス等に吸収させて空容器に回収する。大量の場合は、土砂などで流れを止め、安全な場所に導いてから回収する。
7. 取扱い及び保管上の注意  
 取扱い  
 技術的対策  
 局所排気・全体換気:  
 注意事項  
 安全取扱い注意事項  
 接触回避:  
 保管  
 適切な保管条件  
 安全な容器包装材料  
 人体への接触に対して十分に配慮する。  
 適切に換気し保護具を着用し取扱うこと。  
 目、皮膚、衣服への接触を避け、取扱い後は充分洗浄する。  
 取扱い場所を常に整理整頓し、清潔に保つ。  
 情報なし  
 密閉容器にて-20℃で保管する。  
 本製品に使用されている容器内で保管する。
8. 暴露防止及び保護措置  
 許容濃度  
 日本産業衛生学会勧告値  
 ACGIH TLV  
 添加剤  
 設定されていない  
 設定されていない  
 OSHA PEL  
 保護具  
 呼吸器の保護具  
 手の保護具  
 目の保護具  
 皮膚及び身体の保護具  
 設定されていない  
 必要に応じてマスクを着用する。  
 ゴム手袋を着用する。  
 保護眼鏡を着用する。  
 必要に応じて実験用の被服等を着用する。
9. 物理的及び化学的性質  
 外観 物理的状态:  
 色:  
 臭い:  
 融点・凝固点:  
 沸点又は初留点  
 及び沸点範囲:  
 可燃性:  
 爆発下限及び爆発上限  
 /可燃限界:  
 引火点:  
 自然発火点:  
 分解温度:  
 pH:  
 動粘度:  
 溶解度:  
 n-オクタノール/水  
 分配係数:  
 蒸気圧:  
 比重(密度):  
 蒸気密度:  
 粒子特性:  
 常温で液体、-20℃では固体  
 無色透明  
 ほとんど無臭  
 データなし  
 データなし  
 データなし  
 データなし  
 常温では爆発性はない。  
 水溶液のため引火性はないと考えられるが、THUNDERBIRDTM Probe qPCR Mixは水分蒸発後131℃の引火点を持つ添加剤が残留する。  
 データなし  
 データなし  
 7.0-9.0  
 データなし  
 水に可溶  
 データなし  
 データなし  
 1.0-1.2  
 データなし  
 データなし



## 安全データシート

THUNDERBIRD™ Probe qPCR Mix  
 作成: 2009年1月5日  
 改訂: 2022年10月1日  
 整理番号 00345A

## 10. 安定性及び反応性

反応性	通常の条件下では安定である。
安定性	-20°Cで安定
危険有害反応可能性:	データなし
避けるべき条件:	高温、直射日光、強熱、強酸化剤、還元剤
混触危険物質:	強酸化剤
危険有害な分解生成物:	データなし

## 11. 有害性情報

急性毒性	データなし
皮膚腐食性及び刺激性	目や皮膚の粘膜を刺激し、結膜炎などの炎症を起こす可能性がある。
眼に対する重篤な損傷性又は刺激性	目や皮膚の粘膜を刺激し、結膜炎などの炎症を起こす可能性がある。
呼吸器感作性	データなし
皮膚感作性	データなし
生殖細胞変異原性	データなし
発がん性	データなし
生殖毒性	データなし
特定標的臓器毒性(単回ばく露)	データなし
特定標的臓器毒性(反復ばく露)	データなし
誤えん有害性	データなし

## 各成分の有害性情報

	添加剤
急性毒性(LD50)	マウス経口: 4773mg/kg
皮膚腐食性及び刺激性	目や皮膚の粘膜を刺激し、結膜炎などの炎症を起こす可能性がある。
眼に対する重篤な損傷性又は刺激性	目や皮膚の粘膜を刺激し、結膜炎などの炎症を起こす可能性がある。
呼吸器感作性	データなし
皮膚感作性	データなし
生殖細胞変異原性	データなし
発がん性	データなし
生殖毒性	データなし
特定標的臓器毒性(単回ばく露)	データなし
特定標的臓器毒性(反復ばく露)	データなし
誤えん有害性	データなし

## 12. 環境影響情報

生態毒性	データなし
残留性・分解性	データなし。成分中の添加剤は生分解性あると考えられる。
生体蓄積性	データなし
土壤中の移動性	水溶性あり、水系に拡散する。
オゾン層への有害性	データなし
環境基準	データなし
他の有害影響	データなし

## 13. 廃棄上の注意

残余廃棄物	少量であればペーパータオルやウエスに吸収させて焼却処分する。その施設・地域の廃棄規則に準じて、廃棄物処理専門業者に処理を依頼する。
汚染容器・包装	その施設・地域の廃棄規則に準じて廃棄する。

## 14. 輸送上の注意

国際規制	国連勧告の定義上の危険物に該当しない。
国内規則	輸送に関する法規制には該当しない。
輸送の特定の安全対策及び条件	運搬に際しては容器に漏れないことを確かめ、転倒、落下、損傷がないよう積み込み、荷崩れの防止を確実にを行う。

## 15. 適用法令

輸送に関する法規制は、14.輸送上の注意の項参照。	
消防法	添加剤 危険物第4類引火性液体第3石油類水溶性液体

**TOYOBO**

安全データシート

THUNDERBIRD™ Probe qPCR Mix  
作成: 2009年1月5日  
改訂: 2022年10月1日  
整理番号 00345A

## 16. その他の情報

## 参考文献

「労働安全衛生法対象物質全データ」化学工業日報社(2000年)

「化学物質管理促進法対象物質全データ」化学工業日報社(2000年)

ACGIH(7th,2001)

独立行政法人 製品評価技術基盤機構 化学物質総合 検索システム

## 制約事項

記載内容は現時点で入手できる資料、情報、データに基づいて作成しており、新しい知見により改訂されることがあります。また、注意事項は通常の取扱いを対象としたものですので、特別の取扱いをする場合は用途・用法に適した安全対策を実施の上、ご利用下さい。記載内容は情報提供を主目的とするものであって、保証するものではありません。